

現病歴

X-3年	四肢のしびれ、歩行障害が出現しA病院にて 頸椎OPLLの診断 となったが、手術はせずに保存的加療となった。
X年4月	背部痛を生じ、臥床傾向となった。その時期の歩行は可能であり、食事摂取も行えていた（BMI：20.1）
X年6月	古い焼きそばを食べ嘔吐したあと、倦怠感の悪化を認め、 咽頭部の閉塞感 が気になるようになり、近医の耳鼻科を受診したが、異常なしの判断であった。
X年7月	呼吸困難 の自覚があり近医内科にて肺機能検査を施行し、80歳程度の機能であったため吸入加療を行い、肺機能の回復を認めた。閉眼すると鼻部から咽頭部にかけて閉塞感があり姿勢を変えても改善を認めず、 不眠 となった。